



平成30年8月10日

各位

会社名 株式会社アルゴグラフィックス
代表者名 代表取締役会長執行役員 藤澤 義磨
(コード: 7595 東証第一部)
問合せ先 取締役常務執行役員管理本部長 長谷部邦雄
(TEL 03-5641-2018)

(訂正・数値データ訂正) 平成31年3月期第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)の訂正について

当社は、平成30年7月27日に発表いたしました「平成31年3月期第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」に訂正がありましたので、お知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので、訂正後の数値データも送信いたします。

1. 訂正の理由

平成31年3月期第1四半期決算短信発表後の会計監査人の監査過程におきまして、記載の内容に一部訂正が生じたので、発表済みの決算短信を訂正いたします。

2. 訂正の内容

(1) サマリー情報1ページ

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

<修正前>

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	11,250	16.4	1,240	37.8	1,316	37.6	931	51.6
30年3月期第1四半期	9,660	8.4	899	16.1	956	17.4	614	19.4

<修正後>

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	<u>11,389</u>	<u>17.9</u>	1,240	37.8	1,316	37.6	931	51.6
30年3月期第1四半期	9,660	8.4	899	16.1	956	17.4	614	19.4

(2) 添付資料2ページ

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

<修正前>

その結果として、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、自動車及び半導体業界における研究開発及び生

産能力増強・向上を目的とした投資が堅調に推移したことを受け、売上高は11,250百万円（前年同四半期比16.4%増）となりました。

<修正後>

その結果として、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、自動車及び半導体業界における研究開発及び生産能力増強・向上を目的とした投資が堅調に推移したことを受け、売上高は11,389百万円（前年同四半期比17.9%増）となりました。

(3) 添付資料2ページ

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

<修正前>

PLM事業につきましては、自動車業界の投資意欲が引き続き旺盛であることに加え、半導体業界向けの生産管理工程システムの販売が伸長したことから、外部顧客への売上高は10,822百万円（前年同四半期比16.3%増）、セグメント利益は1,266百万円（同35.3%増）となりました。

<修正後>

PLM事業につきましては、自動車業界の投資意欲が引き続き旺盛であることに加え、半導体業界向けの生産管理工程システムの販売が伸長したことから、外部顧客への売上高は10,961百万円（前年同四半期比17.8%増）、セグメント利益は1,266百万円（同35.3%増）となりました。

(4) 添付資料5ページ

第4【経理の状況】 1【四半期連結財務諸表】

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

<修正前>

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	9,660,022	11,250,703
売上原価	7,292,946	8,453,040
売上総利益	2,367,075	2,797,663

<修正後>

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	9,660,022	<u>11,389,609</u>
売上原価	7,292,946	<u>8,591,945</u>
売上総利益	2,367,075	2,797,663

以 上



平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年7月27日

上場会社名 株式会社 アルゴグラフィックス

上場取引所 東

コード番号 7595 URL <http://www.argo-graph.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長執行役員 (氏名) 藤澤 義磨

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 長谷部 邦雄

TEL 03-5641-2018

四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	11,389	17.9	1,240	37.8	1,316	37.6	931	51.6
30年3月期第1四半期	9,660	8.4	899	16.1	956	17.4	614	19.4

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 1,222百万円 (17.2%) 30年3月期第1四半期 1,042百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	87.21	
30年3月期第1四半期	57.52	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第1四半期	38,054	27,157	66.9	2,385.75
30年3月期	38,303	26,422	64.5	2,315.74

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 25,471百万円 30年3月期 24,724百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		33.00		40.00	73.00
31年3月期					
31年3月期(予想)		40.00		40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,600	3.5	3,950	5.3	4,180	3.5	2,700	4.6	252.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	11,177,000 株	30年3月期	11,177,000 株
期末自己株式数	31年3月期1Q	500,420 株	30年3月期	500,420 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	10,676,580 株	30年3月期1Q	10,676,670 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内の企業業績が堅調に推移する中、世界各国の貿易政策や政治情勢による影響が懸念されており、先行きの不透明感が高まっております。

このような状況下、当社グループでは、各社においてそれぞれの特長を活かした事業戦略を推進しながら、グループ間の連携も促進することで事業基盤の一層の強化とビジネスの拡大に取り組んでまいりました。

その結果として、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、自動車及び半導体業界における研究開発及び生産能力増強・向上を目的とした投資が堅調に推移したことを受け、売上高は11,389百万円（前年同四半期比17.9%増）となりました。営業利益につきましては、待遇改善等により人件費が増加したものの、売上高総利益率が改善したことから、1,240百万円（同37.8%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、931百万円（同51.6%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

PLM事業につきましては、自動車業界の投資意欲が引き続き旺盛であることに加え、半導体業界向けの生産管理工程システムの販売が伸長したことから、外部顧客への売上高は10,961百万円（前年同四半期比17.8%増）、セグメント利益は1,266百万円（同35.3%増）となりました。

連結子会社である株式会社ジューダットが中心となって行うEDA事業につきましては、主力製品SX-Meisterの新バージョンのリリースに合わせて国内外で積極的に営業活動を行ったことから、外部顧客への売上高が427百万円（前年同四半期比18.9%増）、セグメント損失が26百万円（前年同四半期はセグメント損失35百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計及び負債純資産合計は、以下の要因により、前連結会計年度末に比べ249百万円減少し、38,054百万円となりました。

(資産)

流動資産は、現金及び預金が689百万円増加、受取手形及び売掛金が469百万円減少、有価証券が611百万円減少、商品が589百万円減少、仕掛品が37百万円増加、その他が444百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末比500百万円減の25,730百万円となりました。

固定資産は、無形固定資産が89百万円減少、投資その他の資産のうち、投資有価証券が431百万円増加、その他が99百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末比250百万円増の12,323百万円となりました。

(負債)

流動負債は、買掛金が1,233百万円減少、未払法人税等が491百万円減少、賞与引当金が271百万円減少、役員賞与引当金が72百万円減少、その他が895百万円増加したことにより、前連結会計年度末比1,173百万円減の7,559百万円となりました。

固定負債は、退職給付に係る負債が54百万円増加、株式給付引当金が12百万円増加、その他が117百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末比188百万円増の3,337百万円となりました。

この結果、負債合計は前連結会計年度末比984百万円減の10,896百万円となりました。

(純資産)

純資産は、利益剰余金が496百万円増加、その他有価証券評価差額金が307百万円増加、為替調整勘定が64百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末比735百万円増の27,157百万円となりました。

②キャッシュ・フローについて

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、営業活動により得られた資金575百万円、投資活動により使用した資金526百万円、財務活動により使用した資金453百万円等を加味した結果、前連結会計年度末に比べ431百万円減少（3.3%減）し、12,312百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は575百万円となりました。

収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益1,316百万円、減価償却費22百万円、のれん償却額69百万円、退職給付に係る負債の増加額66百万円、株式給付引当金の増加額12百万円、売上債権の減少額471百万円、たな卸資産の減少額552百万円、前受金の増加額551百万円、未払消費税等の増加額115百万円、その他の流動負債の増加額191百万円であり、支出の主な内訳は、賞与引当金の減少額271百万円、役員賞与引当金の減少額72百万円、前渡金の増加額318百万円、その他の流動資産の増加額59百万円、仕入債務の減少額1,233百万円、法人税等の支払額863百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は526百万円となりました。

支出の主な内訳は、定期預金の預入による支出510百万円、有形固定資産の取得による支出22百万円であり、ます。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は453百万円となりました。

支出の主な内訳は、配当金の支払額435百万円、非支配株主への配当金の支払額18百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

貿易摩擦の高まりに伴い世界経済の先行きには慎重な見方が強まりつつありますが、当社グループの主要顧客である製造業においては、次世代技術の研究開発や生産能力の拡大を目的とした投資を積極的に進めており、現時点では当社グループの事業に大きな変化はございません。そのため、平成31年3月期の連結業績予想につきましては、平成30年5月11日に公表いたしました予想数値から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,047,524	13,737,009
受取手形及び売掛金	9,093,181	8,623,220
有価証券	1,877,186	1,266,150
商品	1,259,971	669,989
仕掛品	51,637	88,818
原材料及び貯蔵品	4,774	4,756
その他	896,293	1,340,591
流動資産合計	26,230,569	25,730,536
固定資産		
有形固定資産	236,075	244,215
無形固定資産		
のれん	1,443,485	1,362,968
その他	87,135	77,678
無形固定資産合計	1,530,621	1,440,646
投資その他の資産		
投資有価証券	9,298,933	9,730,227
その他	1,007,522	908,489
投資その他の資産合計	10,306,456	10,638,716
固定資産合計	12,073,153	12,323,579
資産合計	38,303,722	38,054,115
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,658,222	3,424,933
短期借入金	75,000	75,000
未払法人税等	825,994	334,947
賞与引当金	575,068	303,218
役員賞与引当金	90,000	17,503
その他	2,508,676	3,403,721
流動負債合計	8,732,961	7,559,323
固定負債		
退職給付に係る負債	2,485,181	2,539,345
株式給付引当金	91,171	103,587
役員株式給付引当金	40,600	44,906
その他	531,797	649,705
固定負債合計	3,148,750	3,337,545
負債合計	11,881,712	10,896,869
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,873,136	1,873,136
資本剰余金	2,073,658	2,073,619
利益剰余金	18,757,140	19,253,162
自己株式	△691,234	△691,234
株主資本合計	22,012,701	22,508,684
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,895,692	3,203,167
退職給付に係る調整累計額	△106,820	△98,031
為替換算調整勘定	△77,384	△142,183
その他の包括利益累計額合計	2,711,487	2,962,953
新株予約権	1,080	208
非支配株主持分	1,696,740	1,685,399
純資産合計	26,422,009	27,157,246
負債純資産合計	38,303,722	38,054,115

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)
売上高	9,660,022	11,389,609
売上原価	7,292,946	8,591,945
売上総利益	2,367,075	2,797,663
販売費及び一般管理費合計	1,467,204	1,557,552
営業利益	899,871	1,240,111
営業外収益		
受取利息	10,188	8,035
受取配当金	62,157	60,581
その他	14,816	15,710
営業外収益合計	87,162	84,327
営業外費用		
持分法による投資損失	29,670	7,222
その他	555	483
営業外費用合計	30,226	7,705
経常利益	956,807	1,316,732
税金等調整前四半期純利益	956,807	1,316,732
法人税、住民税及び事業税	345,029	350,518
法人税等調整額	5,714	17,258
法人税等合計	350,743	367,776
四半期純利益	606,063	948,956
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△8,034	17,830
親会社株主に帰属する四半期純利益	614,098	931,125

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)
四半期純利益	606,063	948,956
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	427,824	307,475
為替換算調整勘定	△126	△37,944
退職給付に係る調整額	13,185	8,788
持分法適用会社に対する持分相当額	△4,286	△4,519
その他の包括利益合計	436,596	273,800
四半期包括利益	1,042,660	1,222,756
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,052,324	1,215,743
非支配株主に係る四半期包括利益	△9,664	7,012

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	956,807	1,316,732
減価償却費	24,479	22,074
のれん償却額	61,687	69,697
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△260,186	△271,849
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△62,500	△72,497
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	65,163	66,831
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	11,972	12,416
受取利息及び受取配当金	△72,345	△69,606
持分法による投資損益 (△は益)	29,670	7,222
売上債権の増減額 (△は増加)	733,292	471,706
たな卸資産の増減額 (△は増加)	368,336	552,820
前渡金の増減額 (△は増加)	△387,737	△318,384
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△18,685	△59,728
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,278,851	△1,233,289
前受金の増減額 (△は減少)	569,100	551,883
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△21,669	115,982
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	175,067	191,088
その他	4,188	6,273
小計	897,788	1,359,374
利息及び配当金の受取額	67,839	79,534
利息の支払額	—	△349
法人税等の支払額	△774,175	△863,396
営業活動によるキャッシュ・フロー	191,452	575,163
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△510,435
有形固定資産の取得による支出	△15,389	△22,117
差入保証金の差入による支出	△51,574	△554
子会社株式の取得による支出	△10,000	—
関係会社株式の売却による収入	74,823	—
会員権の満期償還による収入	10,000	—
その他	△7,139	6,616
投資活動によるキャッシュ・フロー	720	△526,490
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△391,709	△435,262
非支配株主への配当金の支払額	△13,948	△18,598
財務活動によるキャッシュ・フロー	△405,658	△453,860
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,033	△26,797
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△218,518	△431,985
現金及び現金同等物の期首残高	12,434,682	12,744,710
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,216,163	12,312,725

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。